



令和2年度 第74回卒業証書授与式
3月24日



ほ
う
な
い

第14号

村上市立保内小学校
強い力 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋264-2

TEL0254-62-2302

FAX0254-62-5553

苦難を乗り越えて迎えた卒業式

校長 須貝 学

令和二年度の第74回卒業証書授与式が行われ、48名の六年生が、力強く保内小学校を旅立っていきました。新型ウイルスの影響で、昨年度と同様に感染対策の措置をとった形での開催となりました。

会場の密集を避けるために、来賓は教育委員会のみ、会場に臨席する在校生は5年生だけ、1年生から4年生は、それぞれの教室で画面をおしてリモートでの参加でした。このように一年間の学校生活の最後を締めくくる卒業式もやり方を変えて新しい形での実施でした。

何ができるのか、どのような方法ならいいのかを問い続けて「やれることをやる」そんな一年間でした。それは、学校だけではありません。世界の多くの人たちが、同じように考えて、創意工夫を凝らして乗り越えてきたことでしょう。

「先生、やれること、やるしかないですよ」と男子高校生が、雪の降る窓の外を見つめなが

ら、心の中で担任の先生に問いかける、ちよっと泣かせるテレビCMがあります。森山直太郎さんの「さくら」のBGMが流れて、お笑いタレント東京03の飯塚悟志さんが、高校教師の役を熱演する大塚製菓のCMです。このCMの中で、飯塚先生が、落胆する男子生徒に対して、オンライン越しに「うまくいかない時に、それでも続ける努力を『底力』って言うんだよ」と励ますのです。

三学期の終業式でも話したのですが、保内小学校の子どもたちも、この一年間は、自分が本当にやりたいことをがまんして、「何ができるのか」を考えて、やれることをやって乗り越えてきました。子どもたち自身が、学習や遊びの中で主体的に工夫しながら過ごしてきました。そして、うまくいかないことがあっても、これまで培ってきた「保内魂」という「底力」を発揮しながら、一年間がんばり続ける姿を見せてきたのです。